

## 「ごあいさつ」

2019年 亥年 新元号が楽しみな年となりました。  
会員の皆様におかれましては、希望に溢れる新年をお迎いの事とお慶び申し上げます。  
また、日頃より女子連に対し多大なるご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、昨年テニス界では、錦織圭選手がケガから復帰後の大躍進や、大坂なおみ選手がセレナを破ってUSオープンで優勝する等、日本人選手の活躍により大興奮させて貰った一年でした。

日本女子テニス連盟では、第40回記念大会となる全国レディーステニス大会に特別枠3組を含めた50組が参加し、その決勝戦は、秋篠宮妃殿下がご観戦くださいました。

更に、クレスト大会では、60歳の部が初めて全国大会として開催されました。

宮崎県支部では新しい大会として、6月に第1回ビギナーズ大会を開催する事が出来ました。

また、定例会も初めて6月に県北(延岡)11月に県南(都城)で開催し、大分県と鹿児島県からもご参加頂き、大変賑やかなものになりました。

他には新しい試みとして、年度初めからスタンプラリーを開始し、会員の皆様にも好評を得ましたので、今年度も続行致します。

今年8月に高校総体(インターハイ)が開催されるにあたり、支部としても審判での協力が不可欠となっております。審判員の増員やスキルアップを目指し、練習会・講習会を図っていきたくと思っています。

今年度は理事改選が行われ、数名理事の入れ替わりがありました。  
新しい理事を迎えて役員一同、益々団結を強くし、支部大会の充実に邁進していきたくと思っています。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り致します。